



市保連 だより

2020
(11月)

〔第497号〕

令和2年11月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟
企画広報委員会

発行責任者 上野 誠之
〒860-0004 熊本市中央区新町2-4-27
熊本市健康センター新町分室2階
TEL (096) 322-0096
委員長 松下 英信
委員 坂本 純 笠田 たつ子
吉村 美穂 山田 真裕
今村 弘之



理事会

「新体制に期待」

一般社団法人熊本市保育園連盟 監事 本 田 一 幸



令和2年1月に国内で1例目の新型コロナウイルス関連の肺炎患者が神奈川で確認され、10月6日現在で国内においては感染者数(NHKまとめ)86,637名、死者数1,611名、世界においては感染者数35,475,879名、死者数1,043,945名と最悪のパンデミックとなりました。

4月には国からの新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令を基に、市は感染拡大防止のための保育所等登園自粛要請を行いました。学校等は一斉休校の中、保育所等においては保護者の就労等を考慮し原則開所となりました。保育園等の先生方は子ども達の健康を第一に考えながらも、自分が感染しないか不安を感じながら日々の保育に頑張られておられますことに感謝申し上げますとともに、一日も早い新型コロナウイルス感染症のワクチンや治療薬が完成することを願っております。

さて5月の総会において令和2・3年度の監事に選任され、これまでの理事職とは違った役職の重さに責任を感じております。定款第25条に「監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告書を作成する。2監事は、いつでも、理事、事務局長及び職員に対して事業の報告を求め、連盟の業務及び財産の状況の調査をすることができる。」とあります。今回、新任理事の7名を加えた新体制の理事会及び連盟組織は、上野理事長を中心に新風を起こしてくれると期待しております。新型コロナウイルス感染拡大予防の為に多くの事業が縮小・延期・中止となっております、新しい生活スタイルを受け入れながら創意工夫を図り事業開催が出来るよう皆さんで頑張ってくださいと思います。

私も微力ではありますが昭和57年に保育会に入り、青年部や理事職の経験を活かし連盟の発展に寄与してまいりたいと思います。



理事会

「今感じること」

事務局長兼立田山野外保育センター長 西 島 徹 郎



先生方には、日頃より事務局やセンター職員に対しましてお心配りをいただき、誠にありがとうございます。

私も事務局長に採用いただき、今年で4年目を迎えました。これまで、事務局業務に加え、九州保育三団体研究大会や全国私立保育園研究大会などを通じ、多くの先生方と関わりを持つことができ、楽しく職務に当たらせていただいております。

また、本年度からは、新たに立田山野外保育センター長も兼務し、今まで以上にいろいろな先生方と接する機会を得ることができることを楽しみにしております。

さて、熊本市保育園連盟も昨年70周年を迎えましたが、この間、先人たちの努力により、現在の安定した保育施設経営を勝ち取るなど大きな成果をあげてこられました。しかし、今後益々加速するであろう人口減少社会を考えた時、この安定した施設運営がいつまでも続くとは思えません。保育園の存在意義と今後のあり方も含め連盟一丸となって考えておく必要があるように思います。

また、立田山野外センターは再来年、設立20周年を迎えます。施設の修繕が必要となることも多く出ており、今後10年間の整備計画を作成し、それに基づき適宜対応はしていきますが、今後、この施設をどうしていくのかという将来ビジョンの作成も必要ではないかと感じております。

任期もあと1年5ヶ月となりましたが、これからも連盟そして先生方のお手伝いを精一杯させていただきますので今後ともよろしくお願いいたします。

『保育者のこころえ』～子どもが憧れる存在であるために～

保育士会会長 鬼 木 紀代美

このたび、全国の皆様からいただいた熊本地震復興支援金をもとに、保育士会と給食部会で『保育者のこころえ』を作成しました。

熊本市保育園連盟では、子どもの発達や特性、子ども理解、子育て支援、健康、安全、食育、キャリアアップなど多岐にわたる研修を行っていますが、いずれの研修も保育所保育指針、認定こども園教育保育要領を理解しているという前提での研修会です。保育指針、保育要領には、保育の基本がすべて書かれていますが、残念なことに、研修の講師から「ご存じですね」「持っていますよね」と問われたとき「知りません」「何ですかそれ？」という人もいます。

また、研修会や保育者が多く集まる会合などで、「なに、その服装。TPOを知っているの」という声を聴くことがあります。さらには、保育者を「一日中子どもと遊んでいる人」「タダの子守でしょ」という目で見ている人もいます。

少子化や待機児童問題、新型コロナウイルス感染症が大きな社会問題となっている今、保育者はエッセンシャルワーカーとして注目を集めています。今こそ、私たちの存在を正しく知ってもらえるチャンスです！さあ、ピンクの1冊を手にとってみてください！保育で大切なことがこの中に盛り込まれています。



〈園内研修や日常で活用するために〉

『保育者のこころえ』にはこんなことが書いてあります。

- 1 世界中の子どもが守られる存在です・・・何よりも大切な子どもの人権、最善の利益を守るため世界中の大人が守るべき「きまり」についてまとめました。
- 2 保育者の仕事は？と問われたら・・・『全国保育士会倫理綱領』に簡潔にまとめられています。
- 3 私たちの所属している組織・・・熊本市保育園連盟とは
- 4 保育者必携『保育所保育指針』『認定こども園教育保育要領』・・・すべての園の保育の基本です。中でも大切なことを抜粋し、わかりやすくまとめています。あなたの保育と照らし合わせると、育てたい子どもの姿が明確になり、言葉かけや保育の工夫が変わってきます。
- 5 健康の視点がはっきりするよう感染症ガイドラインを図解、朝の視診にも活かします！病気の時は熊本小児科医会と連盟で作成した登園の基準（熊本版）を参考にしましょう。
- 6 食事も大事な保育！・・・厚労省の『授乳・離乳の支援ガイド』をご存じですか？丁寧に「食べるお口」を育てていきましょう。食事を通して体や心、言葉が育ちます。また、『アレルギー対応ガイドライン』からも大事なことを抜粋しています。無理なく丁寧に進めること、生活管理表を通して医師と連携することの大切さ再確認しましょう。FAO/WHO共同制作の世界共通の粉ミルクの調乳法も載せています。正しい調乳していますか？



- 7 災害への備え・・・熊本地震や大型台風の経験から、各園で災害対応の見直しがなされていると思います。避難場所や子どもを保護者にどうお返しするか。1年目の先生方も共通認識できているでしょうか。近隣への協力要請も含め、全職員で確認しておきましょう。緊急時は誰もが動揺します。全職員が揃っている時間に災害がおきるとは限りません。消防署にお願いして、119番の通報訓練などをしておくと災害発生時に落ち着いて対処できますし、基本的な準備ができます。また、COVID-19の感染拡大により環境や衛生管理への意識が上がりました。コロナ禍のインフルエンザ、ノロその他消毒剤もかわります。基本的な感染症対策や冬場の換気、加湿の見直しはとても大切です。
- 8 子育て支援、虐待防止・・・保育専門職として、地域から多岐にわたり支援が求められることがあります。関連機関はどこ？いざというとき連携ができるように整理しておきましょう。
- 9 求められることがたくさん！・・・次々に新しい情報が出ています。研修に出る。本を読むことで専門職としての自分磨きをしましょう。自分が園の代表として学んだことが園の財産となるよう園内研修を通して共通理解を図り、強い組織にしていきましょう。
- 10 社会人としてのマナー・・・社会人としてマナーや一般常識を身に付けるとともに、ルールを守ることはとても大切です。また、職務上知り得た個人情報があります。子どもを守るため、成長のために生かすことは必要ですが、守秘義務があることをお忘れなく。SNS注意！



- 11 子どもと関わる中で気になること・・・子どもの成長・発達を目安、ちゃんと理解できているでしょうか。経験値や勘ではなく、厚労省のHPに公的な資料がたくさんあります。きちんとした資料を基に保護者に伝える、関連機関、他の専門職に伝えることが子どもたちの育ちを支えることにつながります。また、保育要録及び指導要録を小学校に送りますが、私たちの保育は教科書に沿って展開されているわけではないため、小学校の先生方にはなかなか伝わりません。この『保育者のこころえ』を手に10の姿を参考にしながら、「保育とは遊びを通して総合力を育てることである」と自信をもって伝えていきましょう。
- 12 自分が学んだこと・・・何よりも活かすことが大切です。経験や学び、特にキャリアアップ研修については整理をしておきましょう。自分の持っている資格や登録番号などもきちんと控えておきましょう。
- 13 新しい情報・・・保育に関することは、厚労省や内閣府、文科省のHPに。

私は30年を超える保育の経験や勉強を経て保育士会会長になりましたが、全国や九州の会議、研修では、知らないことだらけで愕然としています。まだまだ、勉強がたりません。

人生において、学ぶことに終わりはありません。皆さんもコロナが終息するまで自己研鑽と園内研修に励みませんか。そして、子どもたちが、「(保育園・こども園の) せんせいになりたい!」と思う、憧れの存在になるために、この冊子をぜひお役立てください。

保育に関する疑問・質問、何かありましたら保育士会までご遠慮なくご相談ください。喜んでお手伝いさせていただきます。



令和2年度新企画 ち得情報！



日常生活の中で、「もう少し楽になるといいな」ということや、「少し得した気分」となるような、ほんの些細なことだけど知ると誰かに伝えたいくなるようなもの集めてみました。ご好評につき、今月号でも掲載いたしますので、皆さんでご覧ください。

今月のテーマは「リフレッシュ」

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日々の業務が増えたり、日常生活でも今までとは違った生活様式に疲れが溜まったりしているのではないかと思います。少しでも、日々のお仕事の疲労や、気分転換のお役に立てればと思い、情報を集めてみました。



リフレッシュ方法20選



アクティブレスト

11月の予定



※新型コロナウイルス感染拡大防止により延期・中止する場合がございます

会 合	日 時	会 場
 理 事 会	11月5日(木)	熊本市国際交流会館 3F国際会議室
園 長 会	11月19日(木)	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室

※「体育祭」・「はいくフェスタ」につきましては今年度は中止となりました



ご結婚おめでとうございます



旭保育園 令和2年 3月1日 保育士 谷口 千恵先生(旧姓:吉里)
旭保育園 令和2年11月1日 保育士 山下 瞳 先生(旧姓:山本)